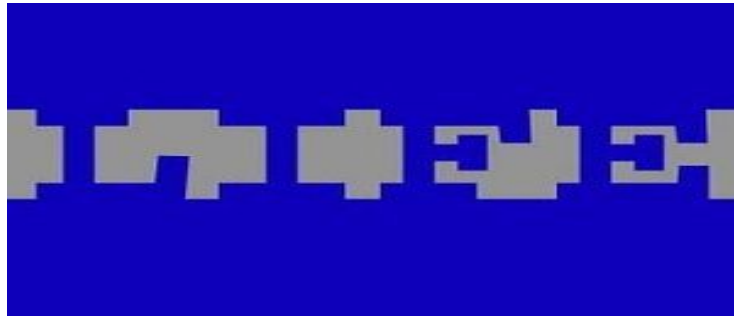


# 説教要旨



上の図に書かれてあるものは一見、何かの模様に見えますが、よく見てみると英語で（LIFE）ライフと書かれてあります。これは目の錯覚を利用した、だまし絵の一種です。私はこの絵から、自分が見える物が全てではないという事を教えられました。

イエス様は、トマスに「見ないで信じる者は幸いです。」と言われました。イエス様は見えない領域がある事、つまり信仰の世界があるということを彼に教えになりました。ヘブル書 11 章 1 節にはこのように書かれてあります。信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。私たちの望みとは何か？確かなものとは何か？それはイエス・キリストが死からよみがえったことです。私達がまだ見えない先からこのことを信じる時、神様は聖霊の力によって私達の心に確信を与え、このよみがえりは私達の罪のためであると告白出来るようになります。

私達は自分の心の傷跡を見つめ、自分の痛みに執着しがちです。傷つけられた過去を忘れることが出来ません。しかしイエス様の打たれた傷は私達を癒すためです。流された血潮は私達の罪から来る怒りや憎しみを流すためです。今、私達が見つめるのはトマスのように、キリストの手と脇腹の傷跡です。私達はイエス・キリストを信じる事によって真の幸いを得るのです。